



のはいいです。(ノーベル賞のお金でヨットを買って遊びまわったという人も居るぐらいですから・・・)。しかし、投資としては無駄でしょうね。100年のノーベル賞の歴史の中で、2つ目のノーベル賞を取った人は、キュリーとサンガーぐらいでしょう。そんなことをするくらいなら、若い優秀な学生に1億円ぐらいずつ上げて、「資金が尽きるまで世界の有数の研究室で勉強して来い」と言うほうが遥かに有効です。新しい業績を取りこむと言うよりも科学の意味を学んでもらうためです。

- 1-4 一方で、ノーベル賞の選考委員はどうでしょうか？ 科学の世界に“Holy Grail”がなくなりつつある時代(科学の終焉)ですから、いろいろと苦勞があることでしょう。日本人が新しい芽はないかとヨーロッパとかアメリカを探っている間に、彼らは候補者を探しあぐねて、日本の中を覗きはじめているようです。



Horgan, John (1996), *The End of Science: Facing the Limits of Science in the Twilight of the Scientific Age*. New York: Broadway

\*\*        \*\*        \*\*  
\*\*        \*\*        \*\*

- 1-5 12月の第42回定例会では小林英三郎さんに国際楽譜ライブラリープロジェクトの話をしていただきます。小林さんはもともと城西大学理学部の生化学の先生で宇宙環境での電気泳動を行った方ですが、今回は、もう一つの造詣、である音楽。楽譜の話です。

SABS-Journal No.023 で

Orphan Books (孤児書籍)―

Orphan Works(孤児著作物) (権利の所在が不明な著作物)

のことを記述しました。音楽 映画の CD 以外に、出版物としては Gutenberg Project の話が出てきます。日本ではさしずめ青空文庫です。

1-6      \*\*\*      \*\*\*

第 42 回定例会に連結して “” **2012 年度懇親会**” を行います。

会場 場所 八雲クラブ (ニュー渋谷コーポラス 10 階-1001 号) (首都大学東京同窓会)

住所： 渋谷区宇田川町 12-3

電話番号： 03-3770-2214

(地図は SABS NPO ホーム・ページ [ジャーナル No.0041] にあります。)

日時 2012 年 12 月 07 日 (金) 午後 1 時 30 分―4 時 30 分・・・?・・・

会費 1000 円

**何方でも歓迎です！！。**

整理の都合上、前日 12 月 6 日までに返信をいただければ幸いです。

2) バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル No. 048

3) 送付先

送信者	送信先	送信数	= [総計]
[奥山]	: 学術関係+一般	674	
[荒尾]	: 会社	55	= (729)

3) 第 41 回定例会の報告

3-1 出席者数 9 名 [会員 6 名]

## 4) 第42回 定例会のお知らせ

\*\*\*\*\*

### バイオテクノロジー標準化支援協会 第42回定例会

\*\*\*\*\*

日時 2012年12月07日(金) 午後1時30分—4時30分

\* (定例会は会員でも会員でなくても自由に出席して、自由に発言も出来ます。)  
友人同士誘い合わせてご出席ください。出席するのが面倒な方はメールでご意見をお寄せください。

場所 八雲クラブ (ニュー渋谷コーポラス 10階・1001号) (首都大学東京同窓会)

住所: 渋谷区宇田川町 12-3

電話番号: 03-3770-2214

(地図は SABS NPO ホーム・ページ [ジャーナル No.0041] にあります。)

今回は話題提供に連結して懇親会があります

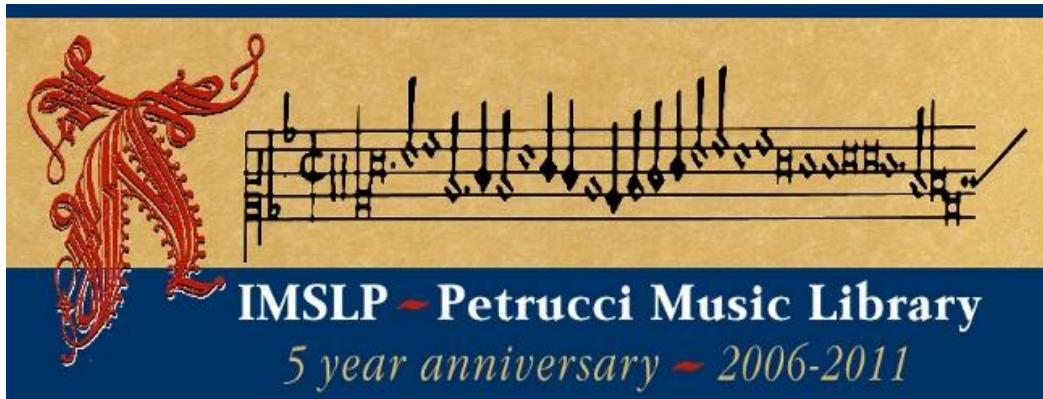
(上記 「昨日。今日・明日」 欄 1-6 参照)

## 話題

国際楽譜ライブラリープロジェクト (International Music Score

Library Project、IMSLP) からみる楽譜のデータベース

小林 英三郎



ヒトの生存・知的活動に必要な感覚機能から得た情報を保存することはかなり困難であり、歴史的にはその多くが“大脳皮質の作業結果を記録”する文字と絵画に依存してきている。一方、視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚の五感で得られた情報が記録できるようになったのはずっと時代が下ってからであり、大量な記録保存が可能である電子媒体を駆使できるようになった21世紀になってもまだ不完全なものが多い。

ここでは聴覚に関連する情報である「楽譜」の「記録、保存、頒布、利用」についてその収録数が21万に達する「国際楽譜ライブラリープロジェクト (IMSLP)」を取り上げ、多くの人々の貢献により非商業的データベースが構築され完成度が高いデータベースに展開していることを紹介したい。

1. あなたは音楽が好きですか？
2. 楽譜の歴史
3. 楽譜は世界語
4. 国際楽譜ライブラリープロジェクトの構造
  - 最近の更新、おまかせ表示
  - 4-1 楽譜を探す
    - 作曲者から、人名から、国から、時代から、曲種や楽器編成から、メロディーから
    - WIMA 蔵書
  - 4-2 録音を探す
    - 作曲者から、演奏者から
  - 4-3 楽譜データベースの管理
    - 参加する、参加者便利帳
    - Recent discussions、よくある質問とその答え、ヘルプ
    - フォーラム、ジャーナル、チャット(IRC)
  - 4-4 For iPhone & iPad
  - 4-5 Purchase

Scores,Parts



4-6 ツールボックス

リンク元、関連ページの更新状況、特別ページ、印刷用バージョン、この版への固定リンク

5. 楽譜を電子媒体にするには

オリジナル楽譜は記譜エディターで、スキャナーは便利

6. 投稿者が編集者

7. 世界の「音楽」.....

5) ホームページに [e-library](#) のリストがあります。 会員の方はその中から希望のものをご指摘ください。